

# 全油販連いっぶくコーナー

## 「負け男」

今回は、日本マーガリン工業会の前専務理事の10年間の思い出に話を戻して、食品表示法とマーガリンの日などについて聞いたことを書きます。

食品表示法は消費者庁ができて農水省や厚労省がそれぞれ持っていた食品表示を一本化し、全ての食品に表示義務を課すという、ある意味画期的なもので、完全施行の日も近づいてきています。3部会を設けて検討され、開催頻度が高いにもかかわらず関係団体の専務理事等が傍聴するので、団体交流の機会ともなり新人にとっては大変有難かったとのことでした。しかし科学的根拠なくトランス脂肪酸の義務表示を主張する一部委員たちが騒がしく最後には別途ワーキンググループまで設けられたことには驚いたし、全ての会合のフォローも大変だったけれど、結構な勉強の機会であったと振り返っていました。

マーガリンの日は、市販マーガリン類の販売減少を踏まえて、記念日であれば工業会全体で販促に活用できることもあり制定したとのこと。記念日候補には、工業会の設立日とか国内初のマーガリン生産日などが出ましたが、工業会創設日は昭和22年2月26日で2.26事件が連想されるので却下され、製造日は会社を総浚いしても特定できなかったとのこと。断念したとのこと。そして、語呂合わせもありということで会員に募集した結果、マーガリンの発明者メージュ・ムーリエの誕生日である10月24日が最多票で、マーガリンの販促時期とも重なることから、決定となったとのこと。日本記念日協会に登録したけれど、登録に有効期間があるなど、記念日に係る協会・システムを考えた方は天才ではないかとしきりに感心していました。

また、どの団体でも専務理事は総会後の懇親会や新年会など司会進行を担当するわけですが、最後の新年会の時に「ただいま酔っ払いの司会から紹介を受けました副会長の〇〇でございます」と言われ、「毎回の酔い（良い？）加減に、とうとう言われちゃった」と少ししんみり飲んでいました。何はともあれ、この10年間、トランス脂肪酸を始めいろいろと問題はありましたが、当初は民間の立場を種々ご指導いただき、その後は会員の皆様方の温かいご支援を頂戴し、とても楽しく過ごさせていただいたと大変感謝していました。

さて話変わって、サッカーのW杯。奇跡的勝利？で半端なく盛り上がっている。ロシア開催なので、夜・夜中の放送となる。TV応援を決めたものの、日本4ゴール中liveで見たのは乾選手の1ゴールだけである。コロンビア戦は開始前に横になったら目覚めた時にはお祭り騒ぎだったし、セネガル戦は2対1後の厠タイム中に同点に追いついていた。liveで応援しない方がよいと感じ、雨男ならぬ「負け男」と自認した。そこで方針変更である。live観戦は止め、試合後のニュースで奇跡の連続を繰り返し楽しむことにした。皆さんはリアルタイムで応援してください。何はともあれ、女子同様に国民栄誉賞も見えてきた？

麻賀倫太郎